

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	テクニカル2	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	プレイヤーコース(ドラム専攻)		開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位					授業形態	演習
教科書/教材	必要資料はプリントなど配布する						
担当教員	川口昌二・下田武男			実務経験の有無・職種		有・プロミュージシャン	
学習目的							
テンポ、アクセント、さまざまなジャンルのリズムを習得し、セッションの現場での対応力を養う授業。現場でドラマーとしてやっていく自信につながるのは、常に充実した基礎力と瞬時に応用に変えられる経験の豊富さによります。授業内で、常に発表会形式で、習得したことを講師、学生の前でプレイすること、自分のプレイするドラミングの分析、解説をさせる。フレーズを聞いている学生からもその場でフィードバックのコメントを受けられ、日々成長を感じる授業となっている。ドラミングの基礎テクニックをつけ、あらゆる種類の楽曲に対して対応できる力を2年で完成させる授業。							
到達目標							
自分の好きなパターンばかりではなく、さまざまなジャンルのフレーズを習得することを目標としている。苦手なリズムをなくし、個人レベルで様々なフィールを表現できるようにするには、日々の練習と出来上がった自分のドラムプレイの分析、そして、再構築。常に出来上がった自分のプレイに対して、分析と再構築の意識を植え付ける。プロの現場では、同じパターンでもさまざまな抑揚、雰囲気を要求される。その対応力を身につけさせ、音楽に対する意識を高める。							
教育方法等							
授業概要	グループによる授業であるが、個人個人の中でのレベルアップを目標にする。基礎的な部分が完成した者は、プラスアルファの課題を追加していき、基礎も不安定な者はテンポダウンして着実に体に入れる。						
注意点	ドラミングはもちろんだが、この授業ではドラムの採譜、読譜にも力を入れる。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	0%					
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	80%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	チェンジアップ・ダウン		様々な音符を安定させる（メトリカル・アツチェレ&リット）				
2回	3連符系の強化		ゴーストノート、2拍3連、4拍3連				
3回	インターポレーション		リズムの読み替えテクニック				
4回	ポリリズム		異なるグルーピングの同時進行				
5回	ブラジリアン・リズム		ボサノバ、サンバ、パルチド・アウト				
6回	カリビアン・リズム		カリプソ、ソカ、スカ、レゲエ				
7回	キューバン・リズム		マンボ、チャチャ、ルンバ、ソンゴ				
8回	スウィング・フィール		ジャズドラミング				
9回	セカンド・ライン・ビート		ルーディメンツ＋スウィングフィール				
10回	ファンク・フィール		16分裏の正確さ				
11回	フュージョン		キメの多い曲に乗せての安定感				
12回	リニア・フレーズ		ロックやポップス内での応用				
13回	トランジション曲		1曲内でのフィールの変化に対応させる				
14回	変拍子		5、7、9拍子のプレイ				
15回	まとめ		一年間のまとめ				